

大陸と北海道がつながっていた時代があった

最後の氷河期（ウルム氷河期）にはサハリンから大陸につながり、多くの動植物が北海道に渡ってきました。その後も湿原は気候の影響を受け変化しながら今に至ります。

最後の氷河期
約2万年前
今より水位は100m低い

湿原が海に覆われていた
約6千年前

湿原が今の姿になった
約3千年前

氷河期が終わったあとも、一部の動植物は大雪山や釧路湿原の厳しい環境を棲みかとして、今も命をつないでいます。



ミツガシワ (6月)

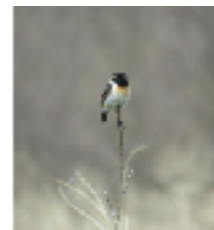
【氷河期からの遺存種】
キタサンショウウオ、ミツガシワ、ハナタネツケバナ、エゾカオジ、ロトンボほか



ハナタネツケバナ (6月)



エゾシカがもっとも見かけることの多い動物です



本州の高山に生息するノビタキも湿原の夏の仲間です。



夏に南から渡って来て子育てをする夏鳥たち（アオジ）



タンチョウは一年中、湿原周辺で生活し、約1千5百羽が記録されています。



冬鳥の代表はシベリアからやって来るオオワシです。



外来種のウチダザリガニは、生物の多様性にとって脅威です。

地味だけど、すごい！ 湿原力とは Wetland Power

- ① **ダムのない貯水池** 洪水防止・貯水機能
Flood prevention / Reservoir
- ② **天然クーラー** 水質浄化・気候変動緩和
Clean water / Climate change relaxation
- ③ **自然界の浄水場** 温室ガス吸収
Absorption of greenhouse gases
- ④ **水平線に凸凹** 漁業資源・生産活動
Fishery resource / Production activity
- ⑤ **天然食料基地** 元気回復・学習研究
Refreshment / Subject of study
- ⑥ **屋根のない博物館** 生物多様性約2000種
Conservation of biodiversity
植物約600種、哺乳類26種、両生類4種、爬虫類5種、魚類35種、鳥類170種、昆虫1150種
- ⑦ **最後の避暑地**
- ⑧ **命のゆりかご**



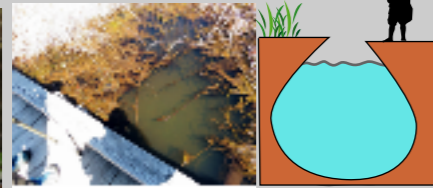
夏のキラコタン岬

釧路湿原には2つのタイプの湿原があります

約80%
ヨシ・スゲ湿原
Reed-Sedge fen



ヤチボウス
Tussock grass



ヤチマナコ
Swamp pond



コタヌキモ
Bladderwort
insectivorous plant

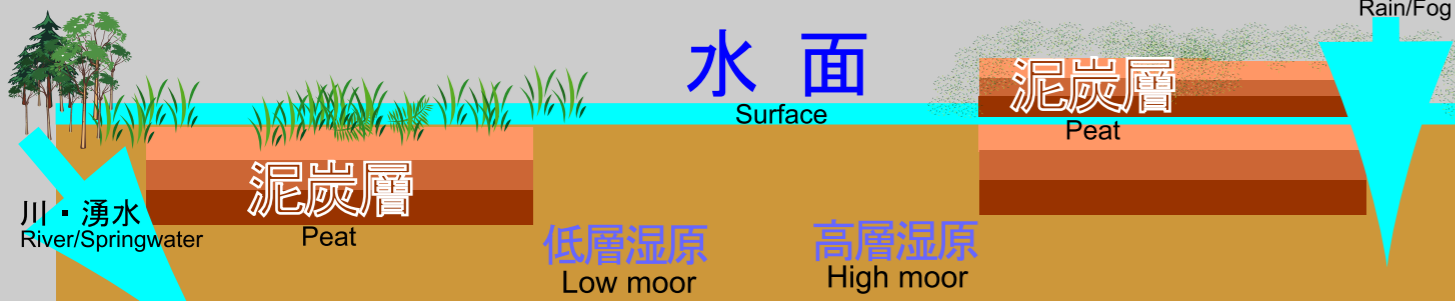


ツルコケモモ
Cranberry
One of the smallest trees in the world



ミスゴケ
Sphagnum

わずか2%
ミスゴケ湿原
Sphagnum bog

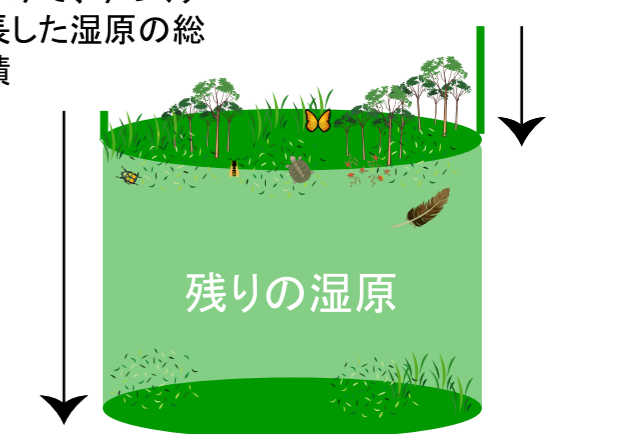


富栄養
Eutrophy



貧栄養
Oligotrophy

日本の湿原の変化



釧路湿原は日本最大の湿原



夏に大群落をつくるホザキシモツケ。



クジャクチョウは成虫のまま越冬する蝶です



ヤナギトラノオは湿根内の木道周辺に咲きます。



冬のタンチョウの給餌場には色々な珍客がやってきます。



湿原周辺の雑木林にも様々な生き物たちが暮らします（エゾフクロウ）。



食虫植物達も命をつなく工夫をします（モウセンゴケ）。